

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 26 年度 第 2 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 26 年 7 月 9 日 (水) 13 時 30 分～15 時 30 分
開催場所	益田市匹見総合支所 大会議室
出席者	・ 匹見地域協議会委員 (8 名) ・ 匹見総合支所：長谷川支所長 住民福祉課：靱田課長、三嶋 地域づくり推進課：村上課長 建設課：露口課長

【会長あいさつ】

諮問があった件について皆さんのご意見を伺いながら検討したい。

【諮問事項】

(1) 益田市顧問制度を廃止することについて <資料 1 住民福祉課長より説明>

- ・ 合併 10 周年を迎えるにあたり、合併調整事項の大部分の整理ができたこと、住民の不安は一定程度解消しつつあるという認識のもと、条例どおり顧問制度を廃止したいという内容の諮問書が 6/2 付で提出された。
- ・ 答申期限は 9 月 30 日。

【協議事項】

(1) 益田市地域協議会について <追加資料 住民福祉課長より説明>

- ・ この件については新市建設計画の延長に伴い 5 年間延長したいという方針が出されている。
- ・ 回答というよりも地域協議会の意見がほしいということ。

≪質疑・意見≫ ＊関連が深いため、質疑はまとめている

●合併調整項目で残っているのは？

- ▷ 5 項目が未調整。防犯灯設置、自治会補助金、美都地域高齢者障害者やすらぎ対策事業、観光協会関係団体助成、特産品販売対策事業の 5 つ。

●美都との調整は？

- ▷ 本日美都においても地域協議会が開催されている。美都の状況も把握しながら方向性を出せれば。

●地域協議会はどういう考えなのか？この 2 つは関連が深い。分けて協議するものではないと思うが。

●仮に顧問を廃止するのであれば地域協議会の内容をより充実したものにとということもあると思う。

●個人的には顧問制度にこだわらず、地域協議会にもっと地域の声が出るような形にし、また市に対してもしっかりと意見が言える体制になればいいと思う。

●上に同じ。地域の発言を強めていかないといけない。

●顧問制度も地域協議会も条例で定められている。分けて諮問する意図が読み取れない。地域協議会延長に関する考えを諮問の中に入れるべきではないか。もし入れたら、仮に議会が両方廃止するべきだ

という見解になった時に手も足もでなくなるから、今回入れていないのではという風に捉えてしまうが。この諮問に顧問は廃止だが地域協議会については引き続き5年延長する考え方であるが、いかがかと書いてある方が我々は論議しやすい。

▷ 顧問については地域協議会長あての諮問、地域協議会については支所長あての依頼文ということで取り扱いが異なっていたため、別の議題として提案することになった。相互に関係はあっても、あくまでも切り離して考えていただきたいということがある。

- そうは言っても、切って切れるものでもない。連動して考えていかないといけない。
- 地域のことを考えるのであれば、地域協議会は5年延長ではなく、「当分の間」でもいいのでは。2、3年できることもできるし、状況によっては伸ばすこともできる。
- 顧問制度については残さないといけないということはない。
- 地域協議会は、地域を重んじるのであれば残すべきだし、5年で区切る必要もないと思う。
- 顧問は予算査定に出たりなど、ある程度の権限が与えられていた。それがなくなるということで、地域協議会のあり方を考えるべきでは。
- 地域協議会もただ残しただけで形骸化しては意味がない。地域協議会の位置づけをきちんと明確にしてそこを市がきちんと理解しなくてはいけない。
 - ▷ 地域協議会として充てられた業務がこの10年間どうだったのか、というところを改めて考えると協議会がうまく機能することによってたとえ顧問制度が廃止になっても本来の地域協議会の役割が住民の方にも見えてくると思う。
- 協議会長はやはりある程度行政経験がある人でなければいけない。
- 地域協議会の5年延長は設置期限の延長のみで、内容の変更はないのか？
 - ▷ ない。
- 要望としては、以前から言っている10年。
- 意見を反映させるのであれば、期限を区切る必要はない。「当分の間」はいけないのか？5年は短い。
 - ▷ 基本的に協議会は終わりを設定しなくてはいけない。ただ、匹見地域協議会として当分の間という表現でやりたいという意向であればそれに従って回答する。ただ、法令審査会などではひっかかる可能性はある。
- 「32年3月31日とする。ただし、計画の進捗状況によってはさらに5年間延長するものとする。」という表現であればベスト。そこまでは言わないが、長くやってほしいという要請はするべき。この10年で、予想以上に地域が疲弊してきたと感じている。だからこそ、地域協議会には長く存続してもらい、声を届けていただきたい。
- 地域の状況は本当に厳しい。
- 合併して10年経ち、人口も400人減り、匹見出身職員も5年先には半減以下になると思われる。そうした中地域協議会の果たす役割は今まで以上に重要になると思う。今回の5年延長はあくまで行政が言うこと。しかし我々は一体感や醸成、地域のまちづくりという観点で考え、10年なら10年という意見をはっきりと出した方がいいのでは。
- 旧匹見町で益田市に対して物がいえ、相談にのれるのは地域協議会。また、地域において匹見町内にいろいろな組織があり、それらに地域協議会の委員がそれぞれ参画するような形で、一体的に動かないといけない。そういうことを相対的に考え、意見を出すべき。

※匹見地域協議会の意見を出すにあたり、様々な方法が考えられる。地域の声を聞くということで自治会もしくは連合自治会の意見を聞くことや地元議員の意見を聞くなど、その手法については？

- 連合自治会の意見を聞くということか？
 - ▷ (会長) 最終的には地域協議会で決めることになるが、参考意見として聞き取りしては。
- あくまで地域協議会にきている諮問なので、連合自治会には、諮問を受けて地域協議会としては「このように考えている」という報告になるのでは。
 - ▷ 実際匹見地域ではこれまで連合自治会を招集してきた経緯はないので、いきなり話をおろすのは…。報告でかまわないのでは。
- 今後のスケジュールは？今日を踏まえてすぐ市に結果を知らせるのか？
 - ▷ 美都の状況も確認して、最終的に8月か9月に答申案をご協議いただき、答申するという流れ。
- 顧問制度を廃止する条件の提示（例えば地域協議会の発言力を強める等々）を考えた上での答申とすべき。それが9月末に決まらなければ延長もやむを得ないと思うが。
 - ▷ (会員より) すぐ結論が出るものではないと思うが、9月末までなら時間も十分ある。顧問制度と地域協議会をセットでじっくり考えた方がいい。
 - ▷ 諮問の答申期限は9月末なので、期日までには結論を出していただきたい。
- この案件を連合自治会におろすにしても、地域協議会の意思としては統一しておくべき。

協議結果

顧問制度は廃止、地域協議会は10年延長で今日のところは意見をまとめる。ただ、次回開催までに連合自治会長からも意見を聞いておく。

【意見交換会】

国道488号の今後の見通しについて

- 匹見峡から奥について、議論は何もないのか。
 - ▷ 現在要望しているのは温泉からレストパークまでの2車線化。それ以降については現在う回路になっている林道三坂八郎線が将来的には検討課題になっていくのでは。
 - ▷ 県としては国道の振り替えも考えられるということで、現在広島県側と打ち合わせをしている段階。市としては、先行してレストパークまでの2車線化を要望し、その後、全体的な話にしていきたいと考えているところ。

職員採用について

- 今支所に地元職員がいない状態が何よりさみしい。農家だけでなく行政の方も後継者を育ててもらいたい。